

### 第31回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和3年2月26日（金）午後1時40分～
- 開催場所 遠軽町役場 議会委員会室
- 記者数 6人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

#### ■新型コロナウイルスワクチン接種について

最初に、新型コロナウイルスワクチン接種についてであります。

国は、16歳以上の方を対象にした、新型コロナウイルスワクチンの接種計画につきまして、2月17日から先行で、国立病院などの医療従事者4万人に対し1回目のワクチン接種を開始しました。

次いで、470万人の医療従事者などの接種が3月中に始まり、65歳以上の高齢者の接種開始は、2月24日大臣記者発表によると、数量を限定して全国で4月12日から優先接種をスタートさせたいとの方針が示されました。

遠軽町の接種体制につきましては、遠軽医師会及び各医療機関と協議を進めており、個別接種と集団接種により実施する方向で検討しております。

接種会場として、個別接種は町内7か所の医療機関と、合わせて保健福祉総合センター・げんき21及び丸瀬布中央公民館などの公共施設による集団接種で計画を進めており、遠軽町全体で医療従事者等を除く、約1万6,000人が対象となります。詳細につきましては、今後、遠軽医師会及び各医療機関と調整し、決定していきたいと考えております。

ワクチン接種に係る事務局体制としましては、保健福祉総合センター・げんき21を事務局とし、担当職員のほか、会計年度任用職員（現在のところ、事務職員4人、看護師3人、保健師1人）の採用を予定しており、臨時電話及びインターネット予約システムを整備し、受付をいたします。

新型コロナウイルスワクチンの納入時期や数量など、国や道の指示に基づき、4月に高齢者から始まるワクチン接種に向けて、準備を進めているところであり、町民の皆様には、確定しだい情報を提供していきたいと考えております。

#### ■白滝ジオパークの日本ジオパーク再認定審査結果について

令和3年2月5日（金）に国内のジオパークの認定機関である日本ジオパーク委員会（JGC）にて令和2年度の日本ジオパークの再認定について審議が行われ、白滝ジオパークは「条件付き再認定」となりました。

審査結果では、前回の平成28（2016）年の審査で指摘された内容について、白滝ジオパーク推進協議会と複数の協力団体が活動に積極的に関わっていることが評価されましたが、専門員の不在によるジオパークの活動の停滞が表面化しており、持続性に関わる課題が指摘されました。

その改善策として日本ジオパークネットワークなどを活用し、目指す活動ができるよう人員や予算を獲得して、体制や運営を立て直すことが必要との提案があったところです。

今回の結果を受けまして、「この地域に必要な黒曜石を生かしたまちづくりとは何か」という原点に立ち返り、多くの関係者の皆様ともご相談しながら、今後の対応を検討してまいりたいと考えております。

## ■アイルランド交流事業について

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会におきまして、遠軽町がアイルランドのホストタウンとして、昨年12月25日に正式に登録されました。

ホストタウンとなった経緯は、本町に所在する児童自立支援施設「北海道家庭学校」の敷地内に、1964年東京オリンピック参加各国選手団が持ち寄った272の樹種をもとに育てられた「1964東京オリンピックゆかりの展示林」があり、アイルランド産などの樹木を50年以上の時を超えて育成してきました。

この展示林をきっかけに、駐日アイルランド大使の訪問やセントパトリックスデーへの参加のほか、昨年10月に開催したアイルランドフェア等交流事業を実施し、アイルランドへの愛着とオリンピックに向けた機運醸成を図ってまいりました。

今後の交流としましては、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加したアイルランドのオリンピックや駐日アイルランド大使等関係者を本町に招待し、記念植樹祭やスポーツ交流事業を実施するとともに、オリンピック終了後におきましても、定期的に交流事業を実施し、展示林を2つの地域の共通のオリンピック遺産「みどりと国際交流のレガシー」として、次世代に継承する活動を展開していきたいと考えております。

## ■北海道日本ハムファイターズ北海道179市町村応援大使について

昨年12月6日に札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズのファンフェスティバル2020の中で、北海道179市町村応援大使2021セレクションが実施され、遠軽町の応援大使に杉谷拳士選手、谷内亮太選手が選ばれました。

応援大使の期間としては、令和3年12月31日までとなっております。

現在、道の駅遠軽森のオホーツクにおいて両選手の等身大パネル、サイン色紙、サイン入りユニフォームを展示しております。今後、道の駅以外の各地域の公共施設でも展示を予定しております。

5月の上旬には、札幌ドームで行われる対楽天ゴールデンイーグルス戦において町民限定で観戦ツアーを予定しており、町広報紙や町ホームページなどで参加者を募集いたします。

また、北海道日本ハムファイターズのベースボールアカデミーから講師を招いて、町民の子どもたちを対象にした野球教室の開催を予定しております。

シーズンオフには応援大使の2選手を遠軽町に招待し、トークショーなどをできればと考えております。

## ■利用の少ない駅の廃止等について

JR北海道では、3月のダイヤ改正によりまして、全道の18駅が廃止されることとなり、本町では、安国駅と生田原駅の中間に位置する「生野駅」が廃止されることとなりました。

生野駅は、昭和62年4月に開駅以来、主に豊原地区の住民に利用されてきましたが、現在ではほとんど利用がないため、地域の自治会の皆様の御理解のもと、3月12日をもって廃止されることとなりました。

当日は、地域住民の皆様による生野駅のお別れイベントを予定しているところであります。

また、利用の少ない駅として、瀬戸瀬駅につきましても廃止の検討が行われてきましたが、瀬戸瀬地区から高校への通学者の利用が当面見込まれるため、令和3年4月から、遠軽町が駅の維持管理費を負担し、駅を存続していくことといたしました。

JR北海道の厳しい経営状況のなか、石北本線沿線自治体とJR北海道が一体となった利用促進などの取り組みを進めておりますが、本町といたしましても、石北本線存続のため、JR北海道に対する支援を行ってまいります。

## ■遠軽町成人式について

令和3年1月10日から延期しておりました、遠軽町成人式につきまして、令和3年5月2日（日）午後2時から遠軽町福祉センターで開催したいと考えています。

新型コロナウイルス感染対策としまして、入場時の健康チェック及び手指消毒の実施、会場は、席の間隔をあけ、換気の実施などを行い短時間で開催するとともに、例年行っています「記念演奏会」並びに式典終了後に関係団体の協力を得て開催しています「成人を祝う会」につきましては、見送ることとし、さらに、来賓の方へのご案内は行わず、保護者の方につきましては会場への入場は、介護等の特別な場合を除き、ご遠慮いただくこととしております。

このため、参加できない新成人や保護者の方に見ていただくため、オンラインの動画配信で式典の様子を配信しますとともに、後日、町のホームページから閲覧できるようにしたいと考えております。

なお、新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大の影響により、再度の延期もあり得ますことをご理解願いたいと思います。

## ■観光イベント等について

2月20日、遠軽青年会議所の主催により「第6回えんがる屋台村 雪提灯」が開催されました。

このイベントは、5年前から青年会議所が中心となって、遠軽駐屯地曹友会、遠軽建友会などの協力により開催されております。今回は、新型コロナウイルス感染症の流行下ではありましたが、徹底した感染症対策を行い、当日は、親子連れから年配の方まで、大勢の方にお楽しみいただいたとのことであります。

また、えんがるロックバレースキー場においては、新型コロナウイルス感染症の流行により、人の往来が減少する中、リフトの乗車人員が1月末現在で前年比11%増（約11,800人増）、約11万5千人に利用をいただくなど、例年以上の賑わいを見せているところであります。

これから、遠軽町は春、そして夏の観光シーズンを迎えます。雪解けが進む4月には、太陽の丘えんがる公園虹のひろばと丸瀬布森林公園いこいの森がオープンを控えております。

「道の駅遠軽森のオホーツク」につきましては、1年を通して楽しめる道の駅となっており、一昨年12月のオープン以降、本年1月末までに、約60万人のご来場をいただいたところであります。

昨年は、アクティビティ施設としてツリートレッキング、サマーゲレンデを整備し、さらに、本年夏頃には日本一の急勾配を誇る大型ジップラインが、いよいよ完成いたします。

こうしたアクティビティ施設の整備により、道の駅としての魅力向上はもとより、他の観光施設への波及効果も期待されるところであります。

間もなく春の訪れを迎えます。ぜひ、多くの皆様に足を運んでいただき、遠軽町の春を満喫していただきたいと思います。願っております。